

「池田小学校の神舞伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立池田小学校

2 学年・人数

3年生から6年生（計9人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年10月～11月 総合的な学習の時間（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和4年11月12日（土）学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

池田旗山「神舞（かんまい）」

(2) 由来

池田旗山に伝わる神舞は、300年以上前から池田地区に伝わると推測され、舞い手自ら口上を述べながら舞う神楽と呼ばれる神への奉納舞である。

豊作を祈り、収穫の無事を喜び感謝する思いは遥かに強く、その思いは今でも受け継がれ、祭りという形で残っている。

(3) 構成等

かつては48種の神舞があったそうだが、現在では、多力鬼神（たちからきじん）、山神鬼神（やまんかんきじん）、霧島鬼神（きりしまきじん）、長刀舞（なぎなたまい）、吉野かんじ、しば鬼神、鬼神舞、矢抜き鬼神、四人鬼神（よったいきじん）、田の神舞の10種の舞が引き継がれている。

5 保存会や地域との連携の具体

令和3年7月、「池田小学校神舞継承活動」について保存会と会合を開き、協力と指導の依頼を行った。

10月の全校朝会で、保存会による神舞を全児童に鑑賞させ、神舞への興味・関心を高めた。練習は、学習発表会前1か月週1回、5・6年生5人の舞い手に指導を仰ぎ、学習発表会では鬼神舞を舞った。

本年度は、3年生以上の児童9人が保存会の御指導の下、舞の練習に取り組んだ。発表会では、昨年舞った1人が単独で多力鬼神舞、他の8人は鬼神舞を舞った。神舞保存会の方々と練習計画を立て、計画に沿って保存会の方が来校し、御指導くださった。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

神舞保存会の方々と打合せを重ね、お互いの思いや願いを話し合いながら、連携を取って練習・発表会を実施することができた。また、神舞の継承活動をふる

さと教育の一環として教育課程に位置付け、計画的に練習に取り組ませることができた。神舞について調べ、発表する活動も取り入れており、児童は自分たちの故郷に伝わる神舞を大切に思う気持ちを強くもっている。

7 取組の様子（発表当日の様子）

継承した神舞は、11月の学習発表会（わくわくふれあいフェスティバル）で発表した。校区内の全戸に案内状を出し、来校を呼び掛けた。地域の方の関心は高く、多くの方が子供たちの発表を参観して下さった。児童も満足そうだった。



《3・4年生による神舞披露》



《5・6年生による神舞披露》



《保存会による神舞披露》



《太鼓と篠笛の方々》

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ みんなが発表のときに堂々としていて、練習の成果が出せたと思った。みんなと息が合って100点だったと思う。
- ・ 発表の日は練習のときと緊張感が全然違った。口上が長かったので覚えられるか不安だったけど、本番は自信をもってできたのでよかった。

【教職員】

- ・ 神舞継承活動では、神舞保存会の方々の御意見を生かしつつ、更に有意義な活動へと進めることができた。また、次年度の活動へのつながりもできた。地域人材や保護者の方々の協力についても、有効に活用できた。
- ・ この活動が、神舞保存会と地域とをつなぐ架け橋となるよう、更に工夫できればと思う。
- ・ 今後の課題として、神舞の発表の場が学習発表会のみになっているので、更に発表の場を広げられたらと思う。

【保存会】

- ・ 神舞を子供たちに舞ってもらうことができ、とてもありがたかった。これからも継続して取り組んでいただきたい。
- ・ 来年度からは、2学期だけではなく、4月から年間を通して取り組んでいただけるとよいと思う。

【地域】

- ・ 久しぶりに池田の神舞を見ることができ、とてもうれしかった。
- ・ 子供たちが頑張っている姿がよかった。